

i-TRiLOGI (Version6.43) のインストール及び設定ガイド

(このガイドは Windows 7 Home Premium 64 ビットバージョンにてご説明いたします。)

専用 CD-ROM 中には下記の様なフォルダーに下記ファイルが展開されております。

<InstallTL6>

<x86-Windows>

<Doc>

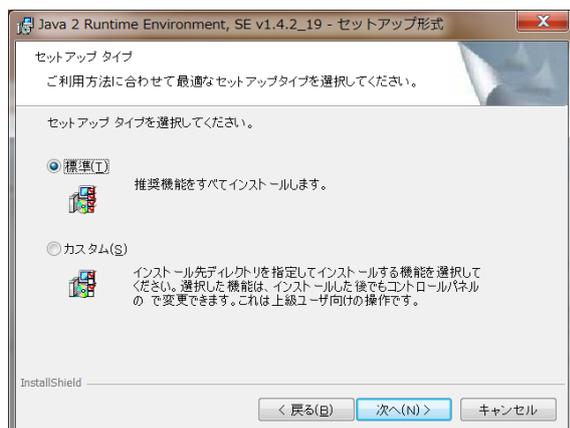
InstallationGuide.thm	(英文インストールガイド)
j2re-1_4_2_19-windows-i586-p.exe	(Java 2 ランタイム)
SetupTL6.exe	(TL6 インストール)
TL6ReferenceManual.pdf	(TL6 英文マニュアル)
Upgrade.htm	(TL6 アップグレード)
User Manuals & Other Documents.htm	(他リンクファイル)

1. Java 2 のインストール

i-TRiLOGI の専用 TL6 プログラムをインストールする前に、初めにエクスプローラにて CD-ROM 内のファイル j2re-1_4_2_19-windows-i586-p.exe を実行して Java 2 Runtime Environment をインストールします。

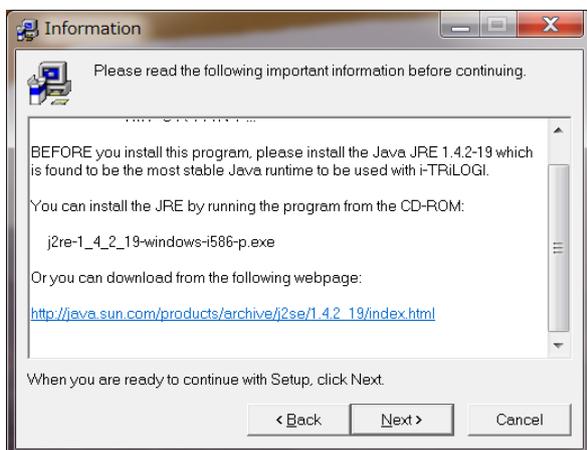
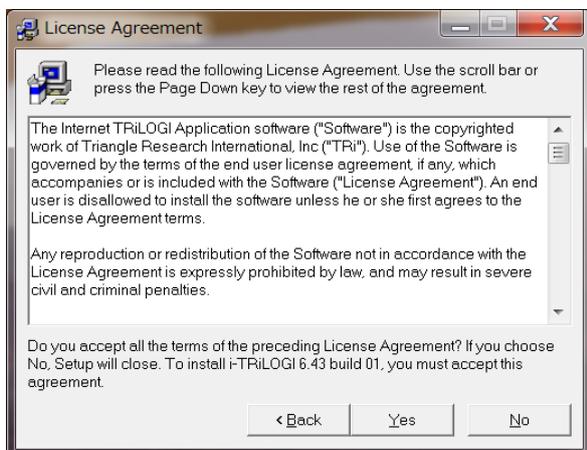
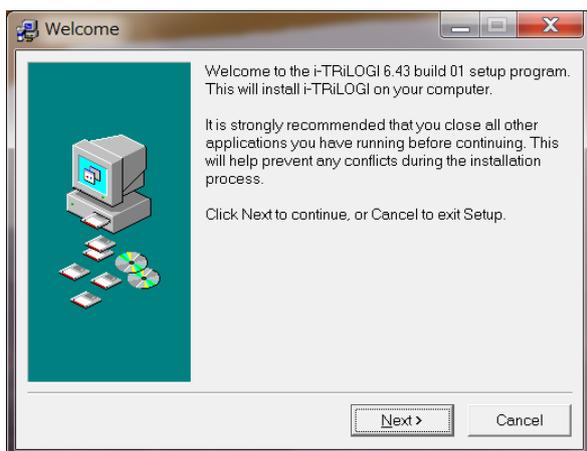
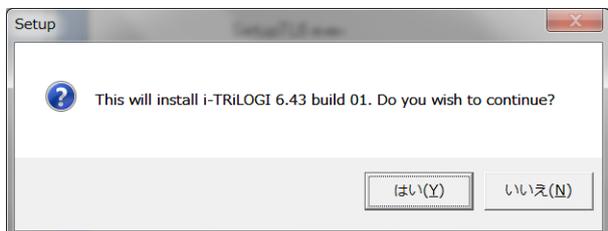


使用許諾契約をご確認の上、[次へ(N)]をクリックして Java 2 Runtime Environment ライセンスファイルをご使用の PC にインストールします。

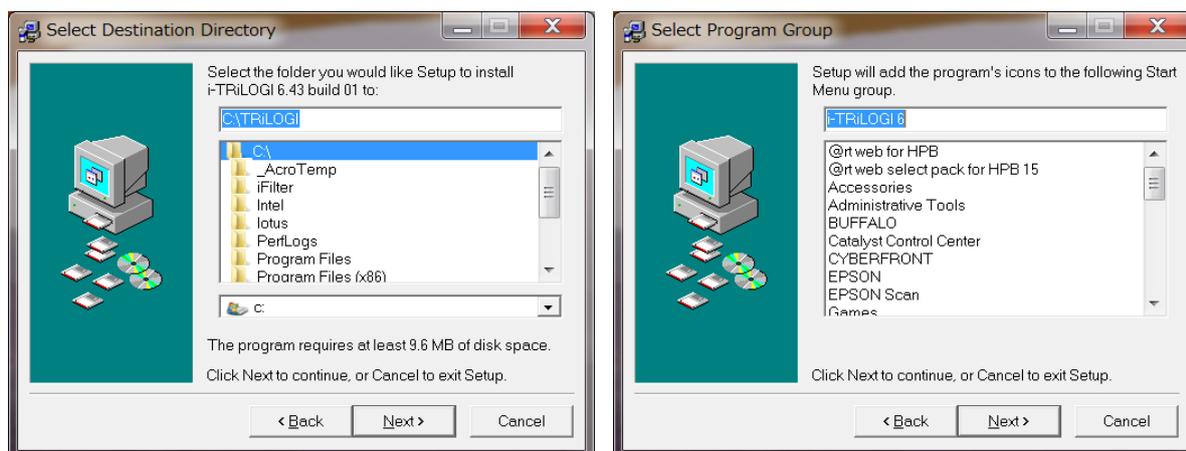


2. TL6 のインストール

次にエクスプローラにて CD-ROM 内のファイル SetupTL6.exe を実行して、i-TRiLOGI Version 6.43 をインストールします。

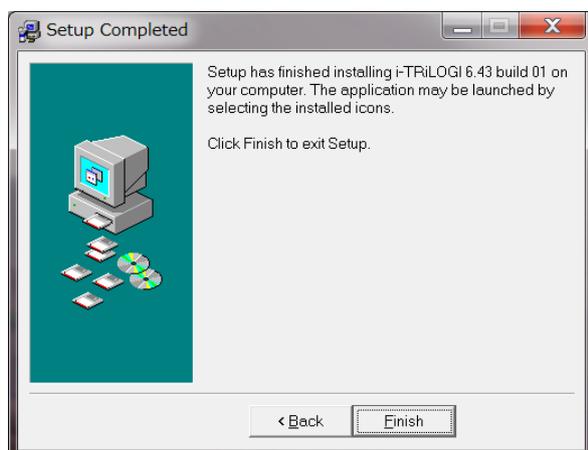
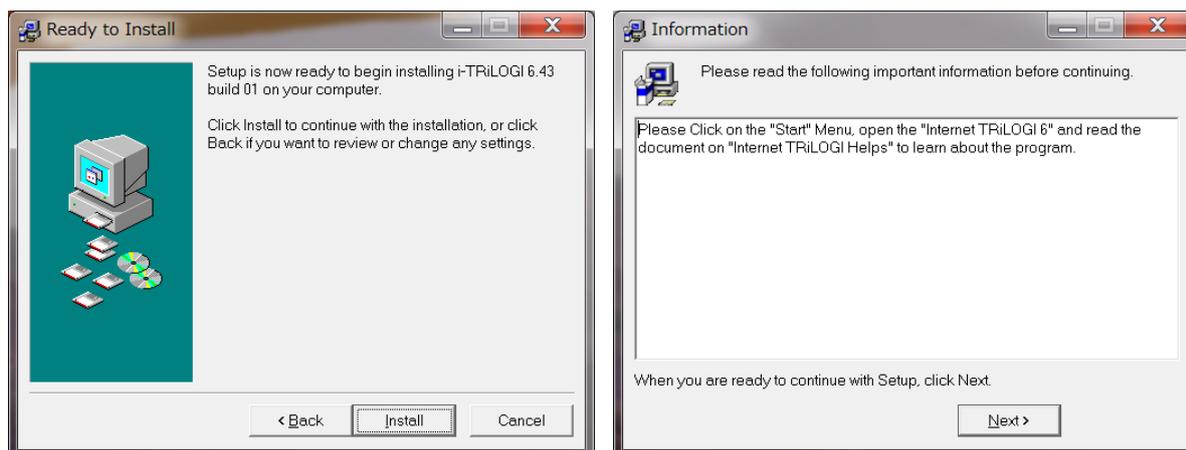


ここで、1項の Java 2 Runtime Environment ファイルのインストールの確認がありますが、すでにインストールされていれば次に進みます。



デフォルトでインストール先のホルダーは C:\TRiLOGI のフォルダーになります。

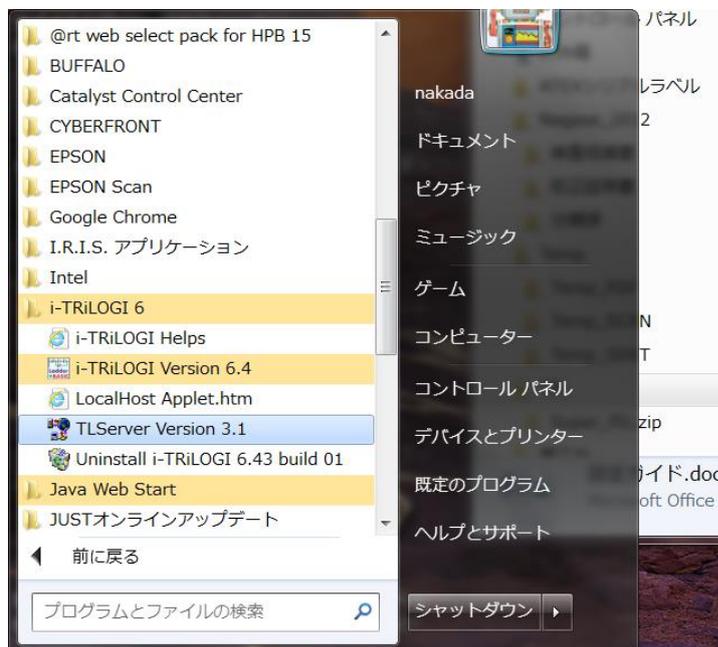
またプログラムメニュー項目も i-TRiLOGI になります。



これで、i-TRiLOGI Version 6.43 のインストールが完了しました。

3. Configure Users ユーザーとパスワードの登録

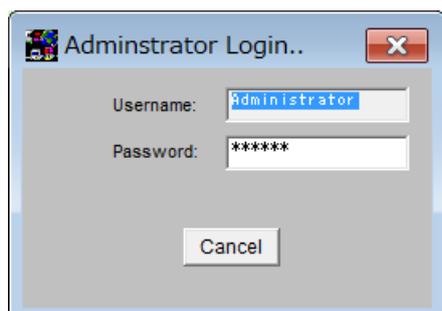
プログラムメニューの i-TRiLOGI 6 の サブメニュー-TLServer Version 3.1 を起動します。



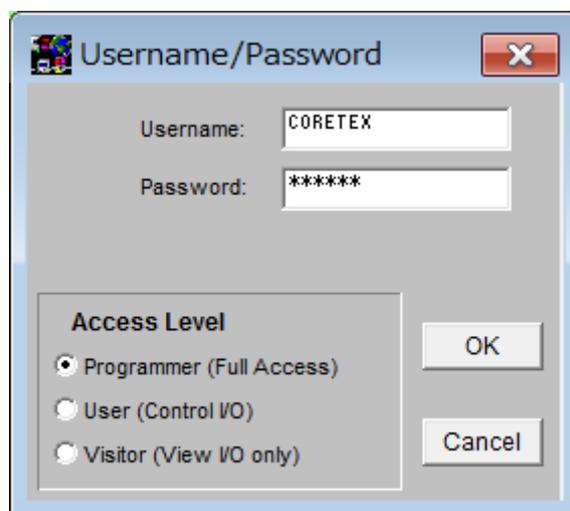
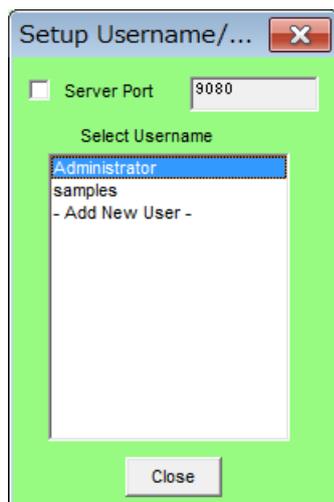
次のダイアログ画面の[Configure Users]のコマンドボタンをクリックして



初めに管理者権限 Administrator と任意の英数字で構成されるパスワードを入力し、キーボードの<ENTER>キーを押して、登録できます。



管理者権限 Administrator のパスワードの変更とユーザー登録は、初めに権利権限者 Administrator にてログインするとユーザーSetup Username ダイアログ画面が表示し、登録変更が可能になります。



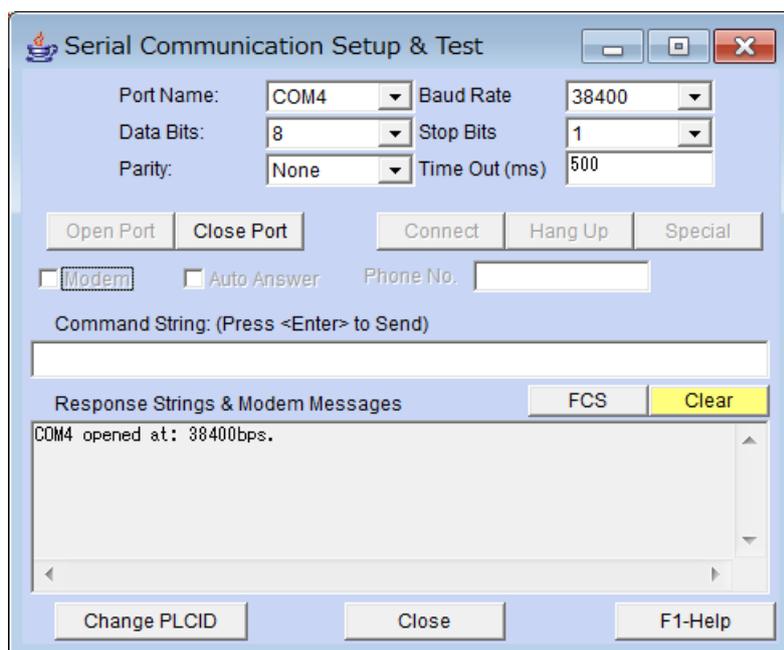
4. PLC とシリアルポート接続 (※Ethernet 接続には必要ありません。)

ご使用の PC の接続ポート(COM1~COM4)に RS232C(DB9)ストレート・ケーブルを使用して、ターゲットの PLC と接続する場合に設定します。

ご使用の PC に 232C(DB9)COM ポートが無く、USB 変換器をご使用になる場合はそちらのマニュアルをご参照ください。また、コントロールパネルのデバイスマネージャーに設定される個別 COM ポート番号をご確認ください。(COM1~COM4 等)



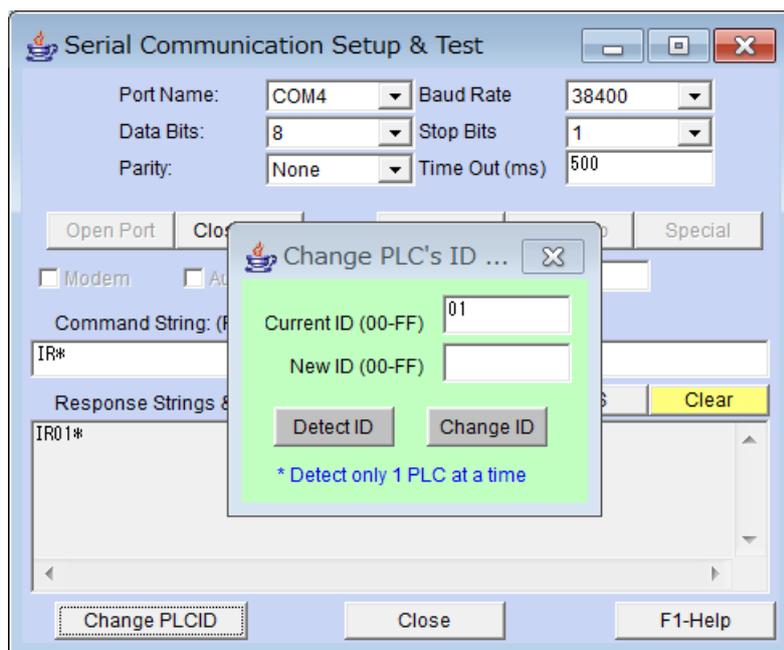
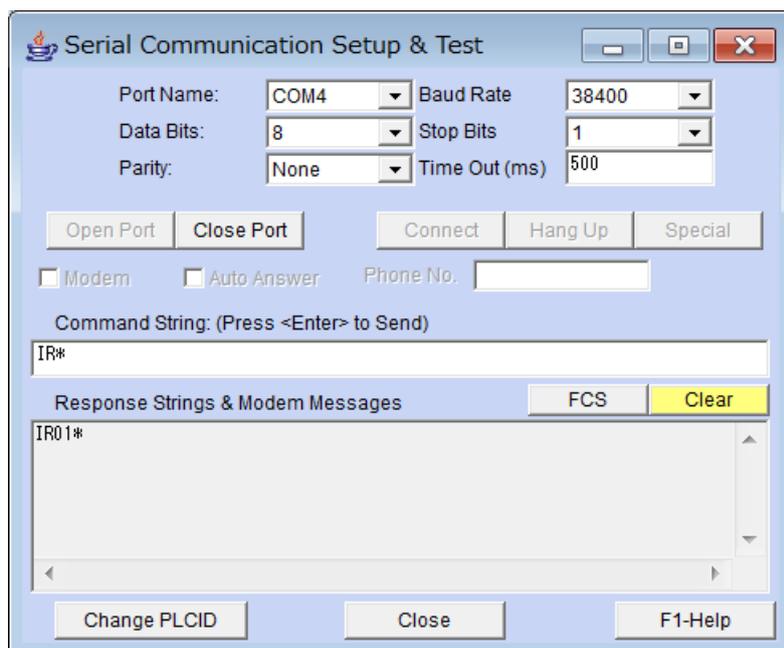
PLC WebServer のダイアログ画面の[Serial Port Setup]ボタンをクリックすると下記の様な Serial Communication Setup & Test 画面が表示します。



ターゲットの PLC と PC を(DB9)ストレート・ケーブルにて接続を確認し、PLC 側に電源を配線し POWER を ON します。

ダイアログ画面の Port Name は先に確認いただいたご使用の PC の COM ポート番号 COM1~COM4 を設定し、Baud Rate は 38400bps に設定します。(注意※1 T100MD 等の PLC のシリアルポートの通信速度はデフォルトで 38400bps です。しかしカスタムファンクションでユーザー側が任意の通信速度をプログラミングした場合は、この通信速度になります。)

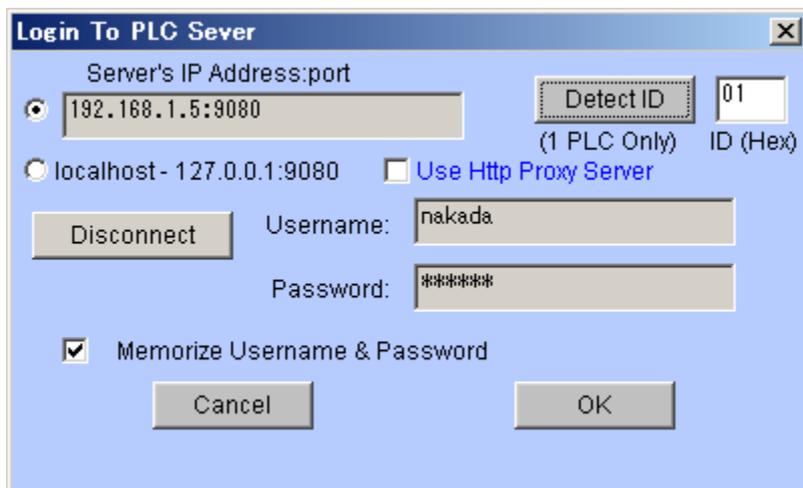
接続完了後、[Open Port]ボタンをクリックすると、COM オートがオープンされ、通信が確定されれば Response Strings & Modem Messages に COM[X] opened at: 38400bps.等のメッセージが表示されます。



また、通信が確立された後、Command String (Press <Enter> to Send)のテキストボックスに TR*を入力後 <ENTER>キーを押すか、[ChangePLCID]の[Detect ID] コマンドボタンによって IR01* または 01 のターゲット PLC の ID 番号がレスポンスされれば PLC 接続完了です。
(PLC の ID 任意に変更可能ですが、デフォルト初期状態は 01 になります。)

5. PLC と Ethernet 接続

市販の Ethernet ケーブル Cat5 相当の LAN ケーブルをハブを接続して、ターゲットの PLC の Ethernet Port の RJ45 に接続し、PLC 側に電源を配線し POWER を ON します。



ターゲット PLC のプライベートアドレスはデフォルトで [192.168.1.5 : 9080] になります。

(個別にアドレスを割り当てる場合の詳細は専用マニュアルご参照ください。)

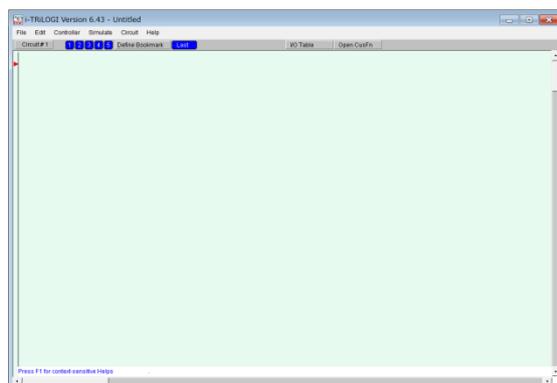
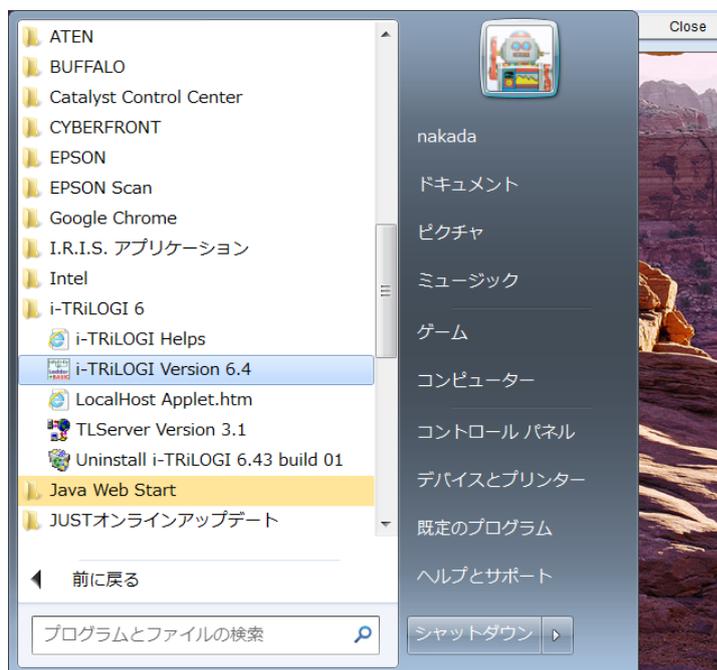
セレクトボタンをターゲット PLC の Address : port にあわせて選択し、[Detect ID]ボタンをクリックすると接続されたターゲット PLC の ID 番号がレスポンスされます。

そして[OK]ボタンをクリックするとターゲット PLC に接続できます。

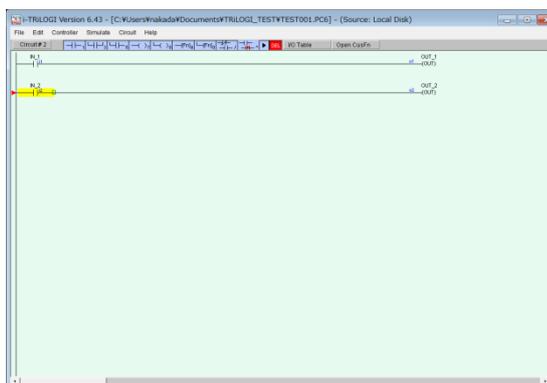
ご使用の PC が専用 LAN に接続され、DNS サーバー等で自動アドレスを割り当てられている場合はご注意ください。この様な場合はご使用になる PC のアドレスを個別にて手動にて、[192.168.1.1 / 255.255.255.0] 等のプライベートアドレスにて設定され、ターゲット PLC にアクセスされることをご推薦いたします。

6. TL6 の起動

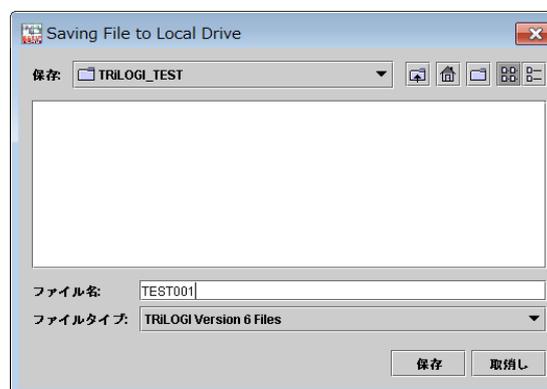
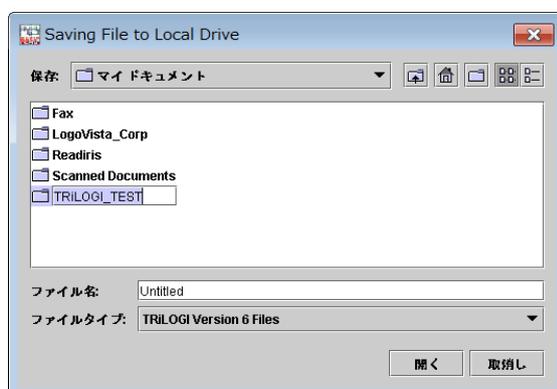
プログラムメニューの i-TRiLOGI 6 の サブメニュー i-TRiLOGI Version6.4 を起動します。



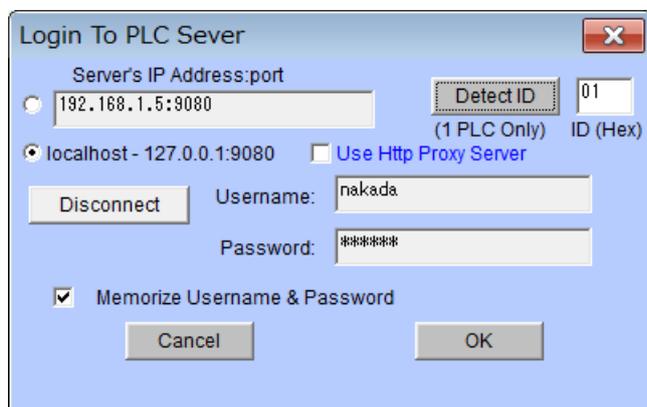
起動後の画面



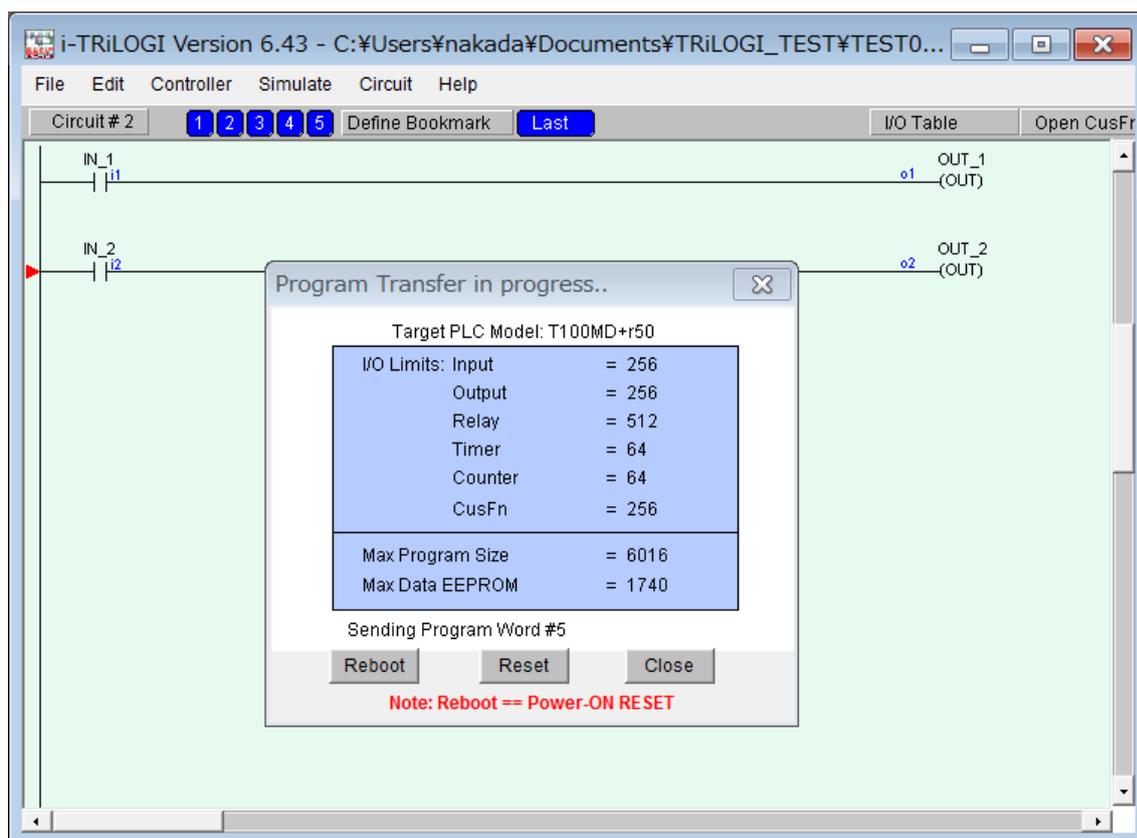
回路作成画面



i-TRiLOGI のコマンドメニューに [Controller]を選択し、ターゲット PLC にアクセスするコマンドを実行する前に、下記の様な Login To PLC Server ダイアログ画面が表示されますので、[Detect ID]とユーザー名を各種設定を確認し[OK]をクリックします。



PLC プログラム転送画面 [Controller] [Program Transfer to PLC]



PLC オンラインモニター画面 [Monitoring]



iTRiLOGI の詳細は下記ドキュメントをご参照願います。

InstallationGuide.thm (英文インストールガイド)

TL6ReferenceManual.pdf (英文 TL6 マニュアル)

ターゲット PLC の詳細はハード個別のドキュメントをご参照願います。

和訳の場合、旧バージョンではございますが、下記リンクをご参照願います。

TRiLOGI Ver3.2 ラダーエディター編 (和文)

TRiLOGI Ver4.1 TBASIC 編 (和文)

http://www.super-plc.jp/Data/J_TRiLOGI_ver32.pdf

http://www.super-plc.jp/Data/J_TRiLOGI_ver41.pdf

株式会社 コアテクス

〒224-0001 横浜市都筑区中川1-17-22

ガーデンプラザ宮台4F

TEL 045-306-8481 FAX045-306-8485